

2019年度 社会福祉法人青谷学園事業計画書

1 空床型短期入所サービスの追加

短期入所をしたいというニーズに応えるため、障害者支援施設青谷学園及びD.O.において、空床型の短期入所サービスを開始します。入所されているご利用者様が入院などで長期期間不在になったときに、空いた居室を短期入所に活用するものです。

定款変更や事業開始手続きを経て9月1日からサービスを開始します。

2 人材育成と人材確保

(1) 処遇改善事業の実施

引き続き処遇改善事業を実施します。より高い報酬加算を狙って処遇向上を図ります。

年度当初における処遇改善費加算分は、次の給与に充てられます。

役職手当の上積み分	月額 5,000円
夜勤手当の上積み分	1回 2,000円
特別手当	月額 20,000円
福祉士資格特別手当	月額 10,000円 ～20,000円
人事考課による基本給の昇給分	

(2) 賞 与

賞与の支給率について、人員確保の観点から、他の社会福祉法人の平均的な支給率を上回る率を目指します。その財源として支援費報酬の増収を図ります。

(3) 柔軟な働き方の推進

必要な労働力を確保するため、働き方の選択肢を増やすため、短時間正規職員の導入を検討します。労働時間、休日、手当の額、賞与の率、職種ごとの短時間正規職員の人数や、その比率について検討します。2020年度から導入を目指します。

(4) 一般事業主行動計画と女性活躍に向けた行動計画の策定と推進

新たに一般事業主行動計画を立てて「くるみん認定」の更新を目指します。

これまでは、女性の育児休業の取得促進を進めてきました。すでに多くの実績ができ、取得しやすい環境は醸成できたと思われしますので、次は「イクメンのすすめ」をします。

その第一歩としてイクボスの育成をします。イクボスとは、部下が育児と仕事を両立できるように配慮したり、育休取得や短時間勤務などを行っても業務を滞りなく進めるために業務効率を上げたりします。そして自らも仕事と生活を充実させている管理職のことを言います。

そんなイクボスになってもらうための勉強会を開いたり、情報提供したりすることから始めます。

一般事業主行動計画に合わせて、女性活躍に向けた行動計画も新たに立てます。

当法人では、女性職員の比率が63%と男性より高いのに、次長補佐以上の管理職では8人のうち女性は3人しかいません。福祉の現場においては、女性の個性と能力が活かされる場面が多々あります。女性管理職を増やして職員の定着とサービスの向上を図るものです。

一般事業主行動計画のイクメンのすすめと合わせて計画を実行します。

(5) 年次有給休暇の取得促進

今年度に付与した日数に対して、7割取得することを目標とします。

(6) 福利厚生

役職員(週労働時間が30時間未満の職員を除く)には、引き続き株式会社リロクラブの福利厚生倶楽部に参加し豊富な福利厚生メニューを提供します。

(7) 職員紹介報奨制度の導入検討

職員に当法人への就職希望者を紹介してもらい、採用に至った場合には報奨金を支払う制度の導入について検討します。

3 災害への対策強化

地震による大規模災害が、いつ起きてもおかしくない状況にあることから、災害への備えを強化します。障害者支援施設青谷学園は2018年7月に、城陽市と福祉避難所の協定を締結しました。災害時には城陽市の一時避難所から、主に障害のある方とその家族の受け入れをすることになります。施設のご利用者様と避難されてきた方、そして職員の、安全と一定期間の生活を維持していくために、しっかりと事業継続できる体制を整えます。

また、大規模災害が発生時の長時間の停電に備えるため、京都府補助金を活用して、非常用自家発電機を設置します。

4 情報セキュリティ管理の徹底

昨年11月に、SECURITY ACTION宣言をしました。宣言に基づき、各事業所の管理体制の強化と、職員一人ひとりの情報管理に対する意識を向上させ、厳格にルールを守るよう情報セキュリティ教育を行います。

5 健康経営の取り組み

(1) 健康保持・増進の取り組み

2019年健康経営の認定を受けたことから、事業所ごとで健康の保持増進に向けての取り組みを発展させてまいります。そして来年度の取得を目指します。

(2) 生活習慣病の予防

生活習慣病の予防と早期発見のため、健康保険に加入している35歳以上の者には、生活習慣病健診を受診させます。

(3) 健康診断

35歳未満の者で健康保険に加入している者には、定期健康診断を受診させます。また健康保険の加入者のうち支援をする職員全員に、腰痛健康診断を問診形式で実施します。

(4) ストレスチェック

健康保険に加入している者には、ストレスチェックを実施します。結果について集団分析を

行い職場の環境改善に役立てます。

(5) 感染症予防

感染症対策として全職員にインフルエンザ予防接種を行います。

(6) 腰痛予防

腰痛発生リスクの高い職員には、腰痛ベルトを配布します。また始業時には腰痛予防体操を実施します。

6 働き方改革への取り組み

労働法の改正により2019年4月1日から、年次有給休暇の5日取得や十分なインターバルを取ることで、産業医との健康相談等のルールがスタートします。これらについては、昨年度に改定をしたところです。そして2020年4月1からは、パートタイム職員の不合理な待遇が禁止されます。扶養家族手当、住宅手当等の手当や賞与の支給、並びに福利厚生 of 取扱いについてその対応を十分検討し規定を整備します。

7 地域社会への貢献

(1) わっかプロジェクトに参画

引き続き、京都地域福祉創生事業「わっかプロジェクト」に参画します。プロジェクトのひとつ「京都式フードバンク事業」では、企業などから集められた食品を子ども食堂に分配するための一時保管場所として、その役割を果たします。

(2) 社会福祉協議会との連携

地域から上がってくる様々な要望を集約されている城陽市社会福祉協議会と連絡を密にし、その中で当法人が取り組めるものがあれば、社協と連携して応えてまいります。

(3) 実習学生等の受入れ

各大学からの福祉現場実習学生受け入れや、近隣の中学校の職場体験の要望には、積極的にお応えし受け入れてまいります。

このほかインターンシップを希望する者には、就労体験の機会を提供します。インターンシップ生には日当交通費を支給します。

法人本部

1 理事会・評議員会の開催

理事会を4回、定時評議員会を1回の開催とします。ただし、理事並びに評議員に異動があった場合は、開催が増える場合があります。必要に応じて評議員選任解任委員会を開催します。

2 災害への対策強化

大規模災害が発生した場合などでも事業が継続できるように訓練するとともに、職員が帰宅できない場合を想定して、仮眠のための必要物品や医薬品を配備します。

事業継続備品費 100,000 円

3 役職員

(1) 外部研修に参加

情報収集と資質向上のため、外部の研修会に積極的に参加します。

研修費 250,000 円

(2) 情報セキュリティ教育

職員一人ひとりの情報管理に対する意識を向上させ、厳格にルールを守れるよう職員教育を実施します。

(3) 健康保持・増進に向けて

常勤役員と職員の健康保持増進のための取り組みを実施します。内容は職員から出された意見を参考に決めます。

健康保持増進費 100,000 円

(4) 家族の職場訪問の開催

一般事業主行動計画に基づく家族の職場訪問を障害者支援施設青谷学園と合同で7月に開催します。

開催費 20,000 円

(5) 制服の支給

現行の制服の支給から一定期間が経過したので、補充・交換を行います。

職員被服費 100,000 円

(6) 役員賠償責任保険に加入

役員賠償責任保険に継続加入します。理事、監事、評議員、施設長が保証の対象となります。

保険料 168,000 円
(火災保険料含む)

4 ホームページの一新

現行の法人ホームページになってから長年経過しているため一新します。より多くの情報を分かりやすく発信できる構成とします。

作成・更新費 400,000 円

5 情報収集

(1) 全国社会福祉法人経営者協議会への加入

社会福祉に関する様々な情報をいち早く取得するためと、協議会が開催する研修会に参加するため、引き続き全国社会福祉法人経営者協議会へ加入します。

年会費 65,000 円

(2) 社労士顧問契約

人事や労務、助成金についての情報収集と、人事労務管理を適正に行うための相談先として、引き続き社労士と顧問契約を締結します。

顧問料 240,000 円

6 ソフトウェアの入れ替え

現在使っている基幹システムのライセンス契約の期限が2020年7月であるため、次期ソフトウェアの選定をします。選考は、使いやすさ、導入時の取扱指導の労力の程度、費用の面から評価します。

選考の結果、他社となった場合、その切り替え時期は、財務・給与・勤怠・人事管理については、給与の始期に合わせて本年11月、利用者支援・支援費請求・給食は、2020年4月とします。また勤怠ソフトの更新の際、対応するタイムレコーダーに入れ替えをします。

ソフトウェア取得費 9,000,000 円

タイムレコーダー取得費 1,000,000 円

ソフトウェア取得積立資産取崩収入 9,000,000 円

7 地域社会への貢献

(1) わっかプロジェクトに参画

わっかプロジェクトは、法人本部の地域貢献担当者が中心となって取り組みます。京都府社会福祉協議会と連絡調整を行い、円滑に事業を展開してまいります。

京都地域福祉創生事業年会費 231,000 円

(2) 社会福祉協議会との連携

城陽市社会福祉協議会と連絡を密にし、上がってくる要望を検討し、当法人での取り組みが可能なものについては、社協と連携して計画を作成し実践してまいります。

障害者支援施設 青谷学園

自然災害、大事故、感染症の蔓延が発生した場合でも、事業を継続することができるように、昨年度に策定した事業継続計画(BCP)がきちんと機能するように訓練を積みみます。補助金事業として非常用自家発電機を設置し停電時への備えを万全にします。

また、昨年度に福祉避難所の指定を受けたことから、その使命を果たせるよう行政と連携してまいります。

支援費報酬では、職員を増員して、人員配置体制を最高区分の「1.7:1」にするとともに、夜間の支援を強化して重度障害者支援加算の増収を目指し、報酬増とサービス向上の両立を図ります。

1 利用者支援

障害者総合支援法第28条に定める生活介護並びに施設入所支援を提供します。

サービスを受けられる主たる対象者を知的障害者とし、サービスの通常の実施エリアを山城圏域とします。サービス提供時間並びに休日は次のとおりとします。

サービスの種類	提供時間	休日
施設入所支援	午後4時00分～午前8時00分	なし
生活介護	午前8時00分～午後4時00分	なし

(1) 意思決定支援会議

ご利用者の自己の決定と選択を尊重するため、すべてのご利用者様について意思決定支援会議を開いて、個々の特性に配慮した説明により選択肢を提示し、ご本人の思いの実現に努力します。

(2) 個別支援計画

直近のご利用者様の状況を反映した個別支援計画を作成します。通常は半年毎に見直しを行いますが、高齢化や病気などで見直しが必要な場合は期間を短縮して作成します。

(3) 生活支援

生活介護を必要とされるご利用者様に、作業、入浴、排泄、食事、着脱衣、静養の介護や、相談援助等のさまざまな支援を行います。

ア 作業

入浴剤の「バスボム」、檜の芳香剤「ヒノッキオ」、手作りろうソクの「はっぴーキャンドル」、「ミサンガ」を自主製品として販売します。利益は全額現金でご利用者様に還元します。

販売収入 50,000 円
材料費・利益配分 50,000 円

イ 創作活動

折り紙、工作、絵画など「ものを創る」ことで自己表現するとともに、楽しみの充実につながります。手指を動かすことで老化防止の効果も期待できます。

材料費 30,000 円

ウ 食 事

個別栄養管理により、ご利用者様一人ひとりの栄養・健康状態に合った栄養量や塩分量とした食事を提供します。誤嚥ゼロを目指し、嚥下機能の測定結果や日々の咀嚼の状態から、普通食が困難と思われる場合は、刻み食やソフト食などその方に合った食事形態により提供します。

食材単価は、朝 220 円・昼 320 円・夕 360 円とします。

食材料費 23,300,000 円

エ 入浴・排泄

入浴は毎日行います。通常の入浴が困難な方には、特殊浴槽での入浴を行います。病気等で入浴ができないときは清拭を行います。

適切な排泄援助を行うとともに、自主排泄を目指した支援を行います。

オ 健康管理

健康診断は9月と3月に行います。嘱託医による診察は月に2回設けます。また、歯科医による訪問診療を週に1回実施します。

健康診断費 580,000 円

カ リハビリ

リハビリが必要な方には、週1回理学療法士等による機能維持訓練を行います。嘱託医師、看護師、理学療法士、管理栄養士、サービス管理責任者、生活支援員が立てたリハビリテーション計画に基づいて実施します。

キ リラクゼーションセラピー

セラピストの資格を持つ職員がリラクゼーションセラピーを週2回行います。

ク 音楽セラピー

外部から音楽療法講師を招いて、音楽セラピーを月2回実施します。

音楽セラピー講師料 340,000 円

ケ ヨ ガ

外部からインストラクターを招いて、ヨガを月に2回実施します。

ヨガ講師料 260,000 円

コ 運 動

ラジオ体操を午前と午後の2回実施します。また、今年度から高齢化するご利用者様の機能維持のため、朝食後に軽い運動を実施します。

サ 行 事

施設内では次の行事を開催します。

毎月1回	誕生日会
7月	夏まつり
9月	敬老会
10月	レクリエーション大会 ハロウィンパーティー
12月	クリスマスパーティー

シ 外出の機会

【買い物】

買い物へは、市内の大型スーパーへ月に1回、近くのコンビニへ週に2回出かける機会を設けます。このほか生協の宅配購入の機会も提供します。

【余暇外出】

喫茶店・公園・映画館・味覚狩り・梅見など地域の社会資源を利用した外出の機会を設けます。

【旅行】

旅行の機会を提供します。旅行費は自己負担となります。

旅行引率職員保険料 10,000 円

ス 金銭管理

日々の少額の現金管理のほか、ご利用者様の通帳をお預かりする預り金管理サービスを提供します。ご希望により利用することができます。

預り金サービス利用料収入 1,416,000 円

セ 利用者自治会

ご利用者様で構成される利用者自治会の運営を支援します。

ソ アンケート調査の実施

ニーズに合ったサービスを提供していくために、ご利用様に対しアンケート調査を行います。

(4) 日課・月間予定表

	第1日曜日	第1月曜日	第1火曜日	第1水曜日	第1木曜日	第1金曜日	第1土曜日
午前	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操
	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除
	コンビニ買物 余暇時間	作業	買物 余暇時間	買物 余暇時間	歯科 往診 創作	創作	シーツ交換 リハビリ 余暇時間
午後	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操
	余暇時間	余暇時間	コンビニ買物 余暇時間	余暇時間	リラクゼーション 余暇時間	リラクゼーション 余暇時間	リハビリ 余暇時間
	入浴	入浴	入浴	入浴	入浴	入浴	入浴
	第2日曜日	第2月曜日	第2火曜日	第2水曜日	第2木曜日	第2金曜日	第2土曜日
午前	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操
	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除
	コンビニ買物 余暇時間	理髪 作業	理髪 ヨガ	買物 余暇時間	歯科 往診 創作	音楽セラピー 作業	シーツ交換 リハビリ 余暇時間
午後	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操
	余暇時間	余暇時間	コンビニ買物 余暇時間	余暇時間	リラクゼーション 余暇時間	嘱託医診察 リラクゼーション 余暇時間	リハビリ 余暇時間
	入浴	入浴	入浴	入浴	入浴	入浴	入浴

	第3日曜日	第3月曜日	第3火曜日	第3水曜日	第3木曜日	第3金曜日	第3土曜日
午前	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操
	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除
	コンビニ買物 余暇時間	作業	外出 余暇時間	買物 余暇時間	歯科 往診 誕生 日会	創作	シーツ交換 リハビリ 余暇 時間
午後	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操
	余暇時間	余暇時間	コンビニ買物 余暇時間	余暇時間	リラクゼーション 余暇時間	リラクゼーション 余暇時間	リハビリ 余暇 時間
	入浴	入浴	入浴	入浴	入浴	入浴	入浴
	第4日曜日	第4月曜日	第4火曜日	第4水曜日	第4木曜日	第4金曜日	第4土曜日
午前	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操
	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除
	コンビニ買物 余暇時間	作業	ヨガ 余暇	外出 余暇時間	歯科 往診 余暇 時間	音楽 セラピー 作業	シーツ交換 リハビリ 余暇 時間
午後	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操
	余暇時間	余暇時間	コンビニ買物 余暇時間	余暇時間	リラクゼーション 余暇時間	嘱託医診察 リラクゼーション 余暇 時間	リハビリ 余暇 時間
	入浴	入浴	入浴	入浴	入浴	入浴	入浴
	第5日曜日	第5月曜日	第5火曜日	第5水曜日	第5木曜日	第5金曜日	第5土曜日
午前	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操
	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除
	コンビニ買物 余暇時間	創作	外出 余暇時間	外出 余暇時間	歯科 往診 創作	作業	シーツ交換 リハビリ 余暇 時間
午後	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操
	余暇時間	余暇時間	コンビニ買物 余暇時間	余暇時間	リラクゼーション 余暇時間	リラクゼーション 余暇 時間	リハビリ 余暇 時間
	入浴	入浴	入浴	入浴	入浴	入浴	入浴

2 安全対策

(1) 危機管理

事業継続計画に基づいた訓練をしっかりと行います。職員が帰宅できない場合を想定して、仮眠のための必要物品や医薬品を配備します。災害用備蓄食料の量を5日分から6日分に増やします。このほか火災、震災、洪水、不審者の侵入を想定した訓練を行います。また、不審者の侵入に備えるため、24時間監視装置による警備警戒をセコムに委託します。

事業継続用備品費 200,000 円

災害備蓄食料費 200,000 円

災害備蓄用品費 100,000 円

遠隔警備費 144,000 円

(2) 感染症対策

全職員にインフルエンザの予防接種を行います。給食従事者には、通常の検便項目の外にノ

ロウィルス検査も行います。また調理エリアについては専門業者による衛生点検と衛生指導を定期的に行います。

職員インフルエンザ予防接種費	230,000 円
衛生検査費	500,000 円
検便検査費	500,000 円

(3) 非常用自家発電機の設置

長時間の停電の時でも通常に近い事業が継続できるように、国と京都府の補助金事業として非常用自家発電機を設置します。機械及び装置積立金資産を取り崩して充てます。

機械取得支出	23,198,000 円
大規模修繕等補助金収入	15,657,000 円
機械及び装置積立資産取崩収入	5,800,000 円
自立支援費収入	1,741,000 円

3 職 員

(1) 職員教育

キャリアパス制度に沿った研修、倫理研修、リーダー層の育成研修などについて、施設内・施設外の研修を組み合わせで行います。また、介護福祉士や社会福祉士等の資格取得を奨励します。

研修費	700,000 円
-----	-----------

(2) 人材確保

新卒者に向けには、当施設のホームページと就職情報サイト「マイナビ」を活用して求人情報を提供します。このほか就職フェアへの参加や、学校まわりを積極的に行います。

また、中途採用者や非常勤職員の求人は、ハローワークとチラシにより行います。パート職員を有効に配置し人件費の抑制を図ります。

内定者には就業への不安を取り除いて安心して入職できるよう就業体験や行事の見学などのフォローアップを行います。

就職サイト掲載費	411,000 円
就職フェア参加費	200,000 円
求人広告費	600,000 円

(3) 福利厚生

職員により結成された合唱団に対して、外部講師による練習費用を支援します。合唱団は行事の際に合唱を披露します。

合唱指導料	140,000 円
-------	-----------

(4) 腰痛予防対策

腰痛予防対策チームを結成し、腰痛予防の取り組みをします。ノーリフティングケアについて施設内研修を行います。

(5) 健康保持・増進に向けて

職員の健康保持増進のための取り組みを実施します。内容は職員から出された意見を参考に決めます。

健康保持増進費 250,000 円

(6) ラインワークスの活用

情報共有のための手段として、昨年度に導入したラインワークスの利用を全職員に拡大するとともに、就職希望者や内定者との連絡にも利用します。

利用料 290,000 円

(7) 家族の職場訪問の開催

一般事業主行動計画に基づく職員家族の職場訪問を夏休み中に開催します。

開催費 120,000 円

4 情報公開

(1) ホームページの活用

ホームページを活用して情報公開を行います。今年度はホームページの手直しをします。

ホームページ管理費 137,000 円

ホームページ修正費 300,000 円

(2) 広報誌の発行

ご利用者様とご家族様向けの広報誌「しゃらら」を毎月発行します。また、地域向けの広報誌の発行を目指して検討します。

(3) 第三者評価受審

施設の透明性を確保するために第三者評価を受審します。

第三者評価受審 320,000 円

5 設備の整備

(1) 電動昇降式ベッドの整備

昇降装置のないベッド58台について電動昇降ベッドに更新します。着替えや失禁した際の介護職員の負担を軽減するためです。次期ベッドは離床センサーが組み込まれたものとし、夜勤者の業務改善につなげます。

電動昇降ベッド整備費 11,000,000 円

(2) ダイニングルームのソファの更新

2階・3階ダイニングルームのソファについて、一部は損傷により既に廃棄しており、また使用中のものも経年劣化が目立つため更新します。

ソファ整備費 800,000 円

(3) 職員室事務機の整備

2階職員室の事務機が不足しているため整備します。

事務機整備費 300,000 円

6 ご家族様に対して

(1) 家族契約会の開催

4月に施設利用契約会を開いて、ご家族様や成年後見人様に事業計画やサービスの内容について説明を行います。

(2) 家族懇談会の開催

ご家族様と担任ごとのグループ懇談会と個別懇談会とそれぞれ年1回実施します。

(3) 青谷学園サービス検討会の開催

家族の会役員と幹部職員で構成する「青谷学園サービス検討会」を開催し、ご利用者様へのサービスについて意見交換や検討を行います。

(4) アンケート調査の実施

ニーズに合ったサービスを提供していくために、ご家族様にアンケート調査を実施します。

7 地域貢献

(1) 現場実習学生・中学生の職場体験の受け入れ

福祉を担う人材養成のため、各学校の施設現場実習学生や、中学生の職場体験の受け入れをします。

受入研修費(指導料・宿泊費)収入 677,000 円

実習学生寝具レンタル料 90,000 円

(2) インターンシップの受け入れ

インターンシップ生の就労体験を実施します。期間は本人の希望により1日または3日間のどちらかで実施します。

(3) 施設公開の開催

地域に青谷学園を知ってもらうため施設公開を11月に開催します。

(4) 福祉避難所の備品整備

福祉避難所としての機能を果たすため備品の整備をします。

福祉避難所備品消耗品費 100,000 円

障害者支援施設 DO

自然災害、大事故、感染症の蔓延が発生した場合でも、事業を継続することができるように、事業継続計画(BCP)を策定し訓練を積みます。

「Enjoy DO-LIFE」をスローガンに、ご利用者様の意思決定を重視した支援を目指します。また、今年度はより働くことに重きを置き、その拡がりにより生きる喜びを実感できる支援を行います。

支援費報酬では、人員配置体制を「2:1」として、報酬増とサービスの向上の両立を図ります。

1 利用者支援

障害者総合支援法第28条に定める生活介護並びに施設入所支援を提供します。

サービスを受けられる対象者を知的障害者とし、サービスの通常の実施エリアを山城圏域とします。サービス提供時間並びに休日は次のとおりとします。

サービスの種類	提供時間	休日
施設入所支援	午後4時30分～午前8時30分	なし
生活介護	午前8時30分～午後4時30分	なし

(1) 意思決定支援会議

ご利用者様の自己の決定と選択を尊重するため、すべてのご利用者様について意思決定支援会議を開いて、個々の特性に配慮した説明により選択肢を提示し、ご本人の思いの実現に努力します。

(2) 個別支援計画

直近のご利用者様の状況を反映した個別支援計画を作成します。通常は半年毎に見直しを行いますが、高齢化や病気などで見直しが必要な場合は期間を短縮して作成します。

(3) 生活支援

生活介護を必要とされるご利用者様に、作業、入浴、排泄、食事、着脱衣、静養の介護や、相談援助等のさまざまな支援を行います。

ア 作業

働く時間との認識を強めて作業を提供します。作業技術や意欲があるご利用者様を中心に「ワーキンググループ」を作り、より作業効率を高め、グループメンバーの工賃収入のアップを図ります。そしてご利用者様の作業意欲や作業技術を評価した工賃分配とします。

作業の内容は次のとおりです。

喫茶 Cafe DO	施設内の喫茶Cafe DOで、飲み物やデザート調理販売を行います。施設のプランター菜園で育てた農作物を材料に使った商品も提供します。
リサイクル自転車整備販売	城陽市・宇治市の放置自転車を無料で譲り受け、整備点検し、市役所などで販売します。
内職作業	主として(株)ユタカ産業の内職を行います。

販売収入 2,000,000 円

材料費等・配分金 2,000,000 円

イ 創作活動

ご利用者様の社会参加を目的に、創作活動では、さまざまなアーティストや異業種団体とコラボレーションして作品を作り個展を開く「アートジャンクション」を行います。

京都府が勧める文化芸術活動である「アーカイブ事業」や、天才アートKYOTO主催の「天才アート展」など社会参加に取り組みます。

また、今年度は「みずほ福祉助成財団」の助成金を利用して、地下鉄四条駅のホームドアを利用したアートギャラリー「art百花繚乱」を約1か月間開催します。

アートジャンクション開催費	100,000円
art 百花繚乱開催費	928,800円
みずほ福祉助成財団助成金	800,000円

ウ 食 事

個別栄養管理により、ご利用者様一人ひとりの栄養・健康状態に合った栄養量や塩分量とした食事を提供します。普通食が困難と思われる場合は、刻み食などその方に合った食事形態により提供します。調理業務は専門業者による外部委託とします。

食材単価は、朝 160円・昼 420円・夕 350円とします。

調理業務委託費	13,500,000円
給食材料費	11,700,000円

エ 入 浴

入所のご利用者様には毎日入浴を行います。病気等で入浴ができないときは清拭を行います。

オ 健康管理

健康診断を年2回実施します。嘱託医による診察は月に2回設けます。また、歯科医による訪問診療を週に1回実施します。

健康診断費	345,000円
-------	----------

カ リハビリ

リハビリが必要な方には、週1回理学療法士による機能維持訓練を実施します。嘱託医師、看護師、理学療法士、管理栄養士、サービス管理責任者、生活支援員が立てたりハビリテーション計画に基づいて実施します。

キ 音楽の時間

希望者には音楽プログラムを定期的実施します。高齢の方には機能訓練も兼ねた太鼓ゲームを実施します。また月に1回外部の音楽療法士によるミュージックセラピーも実施します。

音楽療法講師料	180,000円
---------	----------

ク 社会の時間

スーパーでの買い物など自ら社会資源を利用し、自分の力を試す機会を提供し、自活につなげます。

ケ 運 動

ラジオ体操を午前と午後の2回実施します。運動の時間では、ゲームやスポーツ、機能維持

運動などの運動プログラムを実施します。

コ レクリエーション

語源である「re-creat」のとおり、自分自身を生き生きと作り直せるような行事を実施します。行事への参加は自由です。旅行など外出時の費用は自己負担となります。

4～5月	旅行	アートジャンクション	
5～6月	art百花繚乱見学(入所のみ)		
7～8月	旅行(入所のみ)	涼祭(入所のみ)	涼ランチ(通所のみ)
10月	開園27周年記念行事		
11～12月	スマイルミーティング	クリスマスイベント	
12～1月	旅行(入所のみ)	初詣(入所のみ)	

開園27周年記念行事開催費 100,000円

その他行事開催費 100,000円

サ クラブ活動

ご利用者様の関心や興味があるクラブに自由に参加できるクラブ活動を実施します。

あとりえ	絵を描くことを主とした制作活動グループ。作り出すことで、自分を表現することを大切にしています。(実費は自己負担です)
ヨガ	定期的にインストラクターを招いて実施するヨガは、ストレス発散やリラックスなど精神安定や身体の内部から力をつけていくなどの効果があります。 ヨガ講師料 310,000円
スポーツチャンバラ	安全でわかりやすいスポーツチャンバラを実施します。健康維持やストレス発散に効果があります。 インストラクター料 25,000円
ちょこっとクッキング	作る楽しさや興味深さと同時に、簡単な手順の料理を通して、グループで作るという意義を感じます。(費用は個人負担です)
外出クラブ	季節を感じるちょっとしたお出かけや、ご利用者様の興味や関心がある場所等への旅行を実施します。(費用は個人負担です)

シ 金銭管理

日々の少額の現金管理のほか、ご利用者様の通帳をお預かりする預り金管理サービスを提供します。ご希望により利用することができます。

預り金サービス利用料収入 552,000円

ス 利用者自治会

入所されているご利用者様で構成される自治会運営の支援を行います。

セ アンケート調査の実施

ニーズに合ったサービスを提供していくために、ご利用様に対しアンケート調査を行います。

(4) 送迎サービス

通所で生活介護のみを利用する方に、城陽市役所とJR長池駅への送迎サービスを行います。平日のみの提供です。

(5) 日課・月間予定表

	第5日曜日	第5月曜日	第5火曜日	第5水曜日	第5木曜日	第5金曜日	第5土曜日	
午前	生活 整容 掃除 (通所利用開始)	生活 整容 掃除 (通所利用開始)	生活 整容 掃除 (通所利用開始)	生活 整容 掃除 (通所利用開始)	生活 整容 掃除 (通所利用開始)	生活 整容 掃除 (通所利用開始)	生活 整容 掃除 (通所利用開始)	
	ラジオ体操		ラジオ体操		ラジオ体操		ラジオ体操	
	創作 特別 整容	作業 音楽の 時間	作業 特別 整容	作業 特別 整容	歯科 往診 作業	スポ ーツ チャ ンパ ラ	整理 整頓 (入所) 通所の ミーテ ィング	創作 理学 療法 特別 整容
	創作 余暇 時間	作業 運動	作 業	作 業	作業 クラブ 活動	作業 運動	創作 余暇 時間	
ラジオ体操 (通所利用終了)	ラジオ体操 (通所利用終了)	ラジオ体操 (通所利用終了)	ラジオ体操 (通所利用終了)	ラジオ体操 (通所利用終了)	ラジオ体操 (通所利用終了)	ラジオ体操 (通所利用終了)	ラジオ体操 (通所利用終了)	
入 浴		入 浴		入 浴		入 浴		

2 安全対策

(1) 危機管理

事業継続計画を策定し、計画に基づいた訓練をしっかりと行います。職員が帰宅できない場合を想定して、仮眠のための必要物品や医薬品を配備します。災害用備蓄食料の量を6日分に増やします。このほか火災、震災、洪水、不審者の侵入を想定した訓練を行います。

事業継続用備品費 50,000 円

災害備蓄食料用品費 200,000 円

(2) 感染症対策

職員全員にインフルエンザの予防接種を行います。Cafe DO対応職員と管理栄養士には、通常の検便項目の外にノロウイルス検査も行います。

職員インフルエンザ予防接種費 100,000 円

検便検査費 70,000 円

3 職 員

(1) 職員教育

キャリアパス制度に沿った研修、倫理研修、ノーリフティングケア研修、リーダー層の育成研修などについて、施設内・施設外の研修を組み合わせで行います。また、介護福祉士や社会福祉士等の資格取得を奨励します。

研修費 200,000 円

(2) 人材確保

新卒者に向けには、当施設のホームページと就職情報サイト「学情」を活用して求人情報を提供します。このほか就職フェアへの参加を積極的に行います。

また中途採用者や非常勤職員の求人は、ハローワークとチラシにより行います。パート職員を有効に配置し人件費の抑制を図ります。

内定者には就業への不安を取り除いて安心して入職できるよう就業体験や行事の見学などのフォローアップを行います。

就職サイト掲載費 400,000 円

就職フェア参加費	60,000 円
就職説明会用チラシ作成費	70,000 円
求人広告費	270,000 円

(3) 健康保持・増進に向けて

職員の健康保持増進のための取り組みを実施します。内容は職員から出された意見を参考に決めます。

健康保持増進費	50,000 円
---------	----------

(4) ラインワークスの活用

施設からの伝達や職員間の連絡など、情報共有のための手段としてラインワークスを導入します。

通信運搬費	75,000 円
-------	----------

(5) 家族の職場訪問の開催

一般事業主行動計画に基づく職員家族の職場訪問を開催します。

開催費	30,000 円
-----	----------

4 情報公開

(1) ホームページの活用

ホームページを活用して情報公開に努めます。

ホームページ更新費	194,400 円
-----------	-----------

(2) 広報誌の発行

ご利用者様とご家族向けに、毎月の情報誌「もりもりプラス」と、季節ごとに「もりもり新聞」をそれぞれ発行します。

(3) 福祉サービス第三者評価

施設の透明性を確保するために第三者評価を受審します。

第三者評価受審料	320,000 円
----------	-----------

5 設備整備

(1) リースによる車の入れ替え

普通自動車1台のリース終了に伴い、リースで車椅子スロープ付の軽自動車1台に入れ替えをします。

(2) 風呂用給湯器給湯管の改修

風呂用給湯器の給湯管が老築化しているため入れ替えをします。建設積立金資産を取り崩して充てます。

建物取得支出費	4,546,800 円
建設積立金資産取崩収入	3,500,000 円

(3) 防火シャッター安全装置設置

法改正により防火シャッターの安全装置が必置となったため設置するものです。昨年度の持ち越し事業となります。機械及び装置積立金資産を取り崩して充てます。

機械及び装置取得支出費	815,400 円
機械及び装置積立金資産取崩収入	810,000 円

(4) 次亜塩素酸空気除菌脱臭機設置

感染症予防と消臭対策のため、次亜塩素酸を使った空間除菌脱臭機2台を整備します。

器具及び備品取得支出費	450,000 円
-------------	-----------

6 ご家族に対して

(1) 家族連絡会の開催

定期的にご家族への連絡会を設け、施設事業について説明を行います。

(2) アンケート調査の実施

ニーズに合ったサービスを提供していくために、ご家族様にアンケート調査を実施します。

7 地域貢献

(1) 現場実習学生の受け入れ

福祉を担う人材養成のため、各学校の施設現場実習学生の受け入れをします。

受け入れ研修費(指導料・宿泊費)収入	637,000 円
実習学生寝具洗濯費	10,000 円

(2) インターンシップの受け入れ

インターンシップ生の就労体験を実施します。期間は本人の希望により1日または3日間のどちらかで実施します。

(3) DOスマイルミーティング2019の開催

引き続き障害者施設や障害がある人への理解を深めるため「DO Smile Meeting」を開催します。施設を開放し、一般市民や障害のある方に対して、施設機能や専門性をアピールします。この機会に障害がある方のニーズや状態の把握に努めます。

DO Smile Meeting開催費	100,000 円
---------------------	-----------

特定相談支援 青谷学園相談支援事業所

障害福祉サービスを利用される方に、ご本人の希望をよく伺い、サービス等利用計画の作成を行います。

モニタリング期間毎に適切な支援が行われているか、サービス提供事業所の利用状況や家庭環境を検証し、利用計画の見直しを行います。

1 営業日と営業時間

営業日並びにサービス提供時間は次のとおりとします。

営業日	月曜日から金曜日（祝日と年末年始を除く）
営業時間	午前9時00分～午後5時00分

2 計画相談目標件数

計画相談の目標件数を次のとおりとします。

モニタリング	111件
更新	27件

3 研 修

適切な計画相談支援等を実施するため、相談支援に関係する研修に参加します。

研修費 20,000 円